

第 61 回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

1 日 時 平成 29 年 11 月 13 日（月）14 時 00 分から 15 時 54 分まで

2 場 所 大阪市環境局 第 1・2 会議室

3 出席者

（委 員）

貫上会長、花嶋副会長、足立委員、北井委員、木下委員、後藤委員、斎藤委員、杉本委員、武智委員、中野委員、増田委員、松本委員

（大阪市）

北辻環境局長、青野環境局理事兼エネルギー政策室長、伊東総務部長、深津事業部長、川島企画課長、西尾事業管理課長、池田家庭ごみ減量課長、宮崎一般廃棄物指導課長、大西企画課長代理（司会）

（大阪市・八尾市・松原市環境施設組合）

蓑田事務局長、樺田施設部長

4 議 題 ・平成 28 年度のごみ処理量等について
・ごみ減量等の取組について

5 議事要旨

（1） 大阪市から、平成 28 年度のごみ処理量等の状況と、現在実施中及び今後実施予定のごみ減量等の取組について説明があった。

（2） 意見等の概要は以下のとおり

ア 啓発のための講座などは参加者の属性も考慮して、生活に密着した身近なことへ繋がるように意識したものが、より理解されやすい。また、市民向けの事業・イベントを実施する際は、直感的にわかりやすいタイトルとした方が良いと思う。

イ 講座などへ子どもの参加を促すために、夏休みの自由研究として活用できることをアピールしたり、学校と協力するなど、いろいろと工夫できると思う。

ウ 大阪市は他都市に比べて事業所数が多いとはいえ、まだ事業系ごみの割合が高い。減量は進んでいるものの、事業系ごみの減量が最重点課題ではないかと思う。

エ 事業系の食品ロス削減のために、「食べ残しゼロ」推進店舗認定制度の導入など、積極的に取り組んでいるが、大阪外食産業協会との連携以外に、小規模の飲食店への啓発は非常に重要であると思う。

オ 廃棄物減量等推進員について、コミュニティ回収推進の中心になるような仕組みや、「推進員が主体となって実施する、さらなる活動の場」を、是非とも考えていただきたい。

6 会議資料

第 61 回大阪市廃棄物減量等推進審議会 資料